



青森県庁ホームページ→

資料①治療・受療リテラシー向上事業概要

健康医療福祉部 がん・生活習慣病対策課

治療・受療リテラシー向上事業【新規】

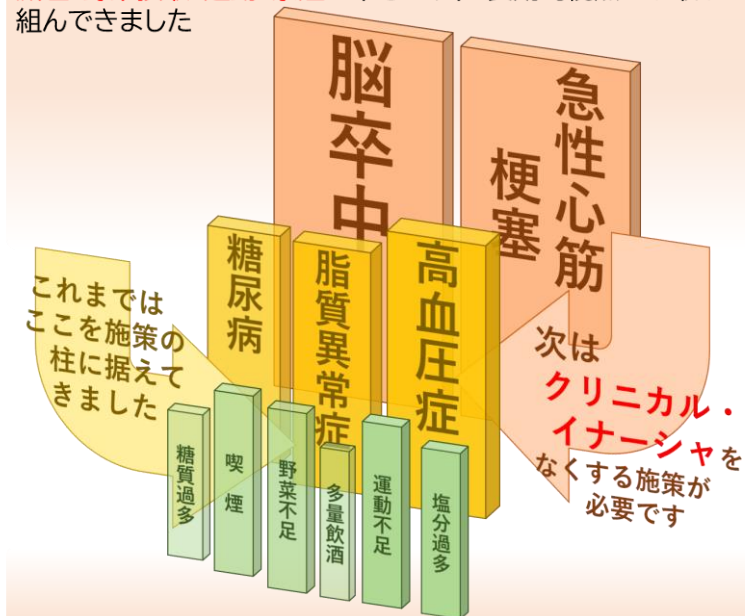
Take medicine

なくすぜイナーシャ



イナーシャ:Inertialは「惰性」と訳され、高血圧診療における**Clinical Inertia**は「高血圧症にも関わらず治療開始しない」「治療ガイドラインが示す降圧達成目標値より高いにも関わらず治療を強化せず様子を見る」ことを意味する**治療イナーシャ**と「難治性・治療抵抗性高血圧の原因を精査しない」を意味する**診断イナーシャ**が含まれます

県ではこれまで生活習慣病の発症予防、重症化予防対策として**減塩・野菜摂取・運動・禁煙**を中心に、中・長期的視点から取り組んできました



新年度では、より短期的な取組として、高血圧診療における**クリニカル・イナーシャへの対策**を併せて進めます



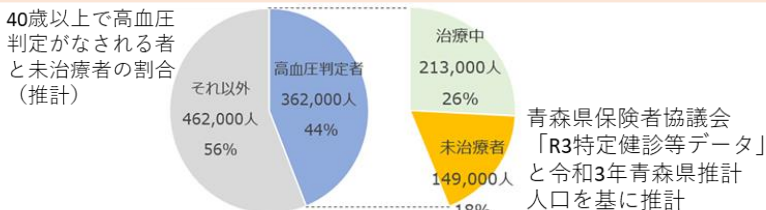
青森県庁ホームページ

健康医療福祉部 がん・生活習慣病対策課

治療・受療リテラシー向上事業【新規】

青森県の現状

- 青森県では1年間に脳血管疾患で約1千5百人、心疾患で約3千人の方が亡くなっており、これらで全死因の2割超を占めます
- 前のスライドのドミノ図にある、脳心血管病につながりやすい高血圧症・脂質異常症・糖尿病のうち、**脳心血管病死亡の最大要因である高血圧症の未治療者が、特に多い状況にあります**
- 40歳以上の青森県民約82万4千人のうち、高血圧判定がなされるのは、治療中である方を含め約36万2千人と見込まれます
- この推計約36万2千人のうちで、治療を行っているのは約21万3千人にとどまり、**行っていない方は約14万9千人**いらっしゃると推計されます



- 高血圧症の未治療者を減少させ、このことにより脳心血管病の発症者を減少させることは、**①全体としての医療費の低減と、②救急医療現場の負荷軽減、そして③将来の介護費用の低減**にもつながります
- 仮に、これまで高血圧症を放置してきた人のうち、年間1万人が新たに降圧治療を始めたとすれば、脳心血管病による死亡者を年間3百人減らすことができると考えています
- この事業では、新たに降圧治療を開始する方を令和7年度中に2万人増やしたいと考えています

本事業では、県医師会・県薬剤師会と協同で、病院・診療所において右記の動機付け・インセンティブも紹介しながら、治療ガイドライン適合者(収縮期140mmHg以上、又は拡張期90mmHg以上)に対し、生活習慣の改善を強化しつつ、**降圧治療の開始を促し、適切な治療につなげる**ことを目指します。

降圧治療を開始した方対象のインセンティブ

健康診断の結果から高血圧症の診断につながった佐藤さん



整形外科受診中に内科受診も勧められ高血圧症の診断につながった成田さん



賞品(例)
3か月ごとに抽選で
1等 1万円相当…10本
2等 5千円相当…20本
3等 2千円相当…50本
など

お薬手帳などで初めての調剤であることを確認しQRコードをお渡し



キャンペーンQRコード



キャンペーンQRコード

応募



血圧測定の習慣がある方対象のインセンティブ

毎日の血圧測定を欠かさない工藤さん



専用サイトで個人情報の取扱いに同意し、メールアドレス等を登録

サイトで測定血圧を登録



10回測定・登録で
1回抽選に応募できる

賞品(例)
2千円相当…45本
など